

2019年度初任行政研修カリキュラム

| 分類 | 科目 | 実施方法 | ねらい |
|------------------------------|-------------------------|------------------|---|
| 国民全体の奉仕者としての 使命と職責について考える | 公務員の在り方 | 講義、討議、 レポート作成 | 各府省の事務次官等から、自らの経験に基づいた行政官としての心構えに関する話を聞き、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。 |
| | 公務員倫理を考える | 演習 | 事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機づけを図る。 |
| | 古典に学ぶ(読書研究) (A～Dコース) | 講義、討議 | 我が国において長らく読み継がれてきた書籍を読み、与えられた課題や論点等について自ら考え、討議、意見交換を行うことにより、行政官として必要な深い思索力を涵養する。 |
| | 人権 | 講義 | 人権問題に関わる講義を聞き、我が国が抱える人権問題の現状を認識するとともに、基本的人権に対する意識を高める。 |
| 公共政策の在り方を多角的 に検証し考える | 政策課題研究 | 講義、討議 | 府省横断的な政策課題について調査研究を行い、所属府省の異なる研修員同士の班別討議及び長期的展望に立った具体的な政策提言を通じて、国民全体の奉仕者としての自覚、課題発見能力、問題解決能力、表現力等行政官として求められる資質を涵養する。 |
| | 若手公務員の歩み | 講義、討議 | 各府省の課長補佐等を講師とし、各府省が取り組んだ行政課題等を題材にした講義、質疑を行い、実際の政策形成に当たって必要となる視点、関係者との調整の在り方を学ぶほか、若手公務員の能力開発・キャリア形成について理解を深める。 |
| | 行政政策事例研究 | 講義、討議 | 歴史的意義の大きい過去の行政事例を題材として、当時の困難な状況の下で取るべき方策を模索した関係者等から話を聞き、「行政官として取るべき行動」について、批判的な視点も含めて多角的な立場から率直かつ自由に討議し、行政官として求められる課題発見能力や、問題解決能力を涵養する。 |
| | 政策ディベート | 講義、討議、 実習 | 政策上の論題について、相手の反論に抗しつつ立論し説得する。また、審判として双方の立論の論理性や説得力を客観的に判断する。これらを通じて論理的思考力を養い、相手の意見を的確に把握する能力や効果的な説明手法を身につける。 |
| | 特別講義 | 講義 | 我が国が直面する課題に関する講義、各界で活躍されている方々からの講義、質疑応答を通じ、国民全体の視点から施策を行うための素養、見識を養う。 |

| 分類 | 科目 | 実施方法 | ねらい |
|---------------------|------------------------|-----------------|--|
| 公正な公務運営について学ぶ | 公務員の在り方(再掲) | 講義、討議、レポート作成 | 各府省の事務次官等から、自らの経験に基づいた行政官としての心構えに関する話を聞き、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。 |
| | 公務員倫理を考える(再掲) | 演習 | 事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機づけを図る。 |
| | 若手公務員の歩み(再掲) | 講義、討議 | 各府省の課長補佐等を講師とし、各府省が取り組んだ行政課題等を題材にした講義、質疑を行い、実際の政策形成に当たって必要となる視点、関係者との調整の在り方を学ぶほか、若手公務員の能力開発・キャリア形成について理解を深める。 |
| 体験を通して行政の在り方について考える | 介護等実地体験 | 講義、実地体験、レポート作成 | 社会福祉施設等における介護補助業務等の実地体験を通じて、福祉とそのあるべき姿について考察を深めるとともに、今後の行政の在り方について考える。 |
| | 地方自治体実地体験・被災地復興支援プログラム | 講義、実地体験、レポート作成等 | 地方自治体行政の現場を訪問し、実地体験や自治体職員、地域住民との意見交換等を通じて、地域の多様性、生活実態、住民の意識やニーズ等についての認識を深める。研修員の一部は、被災地復興・地方創生プログラムとして、被災地や地方創生関連団体において活動を行う。 |
| | 国際行政の現場(A～Dコース) | 講義、意見交換 | 国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく生きた話を日本人関係者より聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、国際協力の在り方や諸外国との関係などについて認識を深める。 |
| | 外国から見た日本への期待 | 講義、意見交換 | 駐日大使館に勤務する外交官等から、外交交渉の場における日本政府との折衝や実際に日本で暮らした経験を踏まえ、国際社会において日本に期待される役割や、日本と各国との相互理解・協力を増進するために日本の国家公務員として心がけるべきことなどについて、外交官の視点から語ってもらい、意見交換を通じて、理解を深める。 |
| | 現場訪問 | 講義、視察、意見交換 | 中小企業、NPO、行政政策に関連した施設等を訪問し、関係者との意見交換等を通じて、政策立案を行う上で現場を知ることの重要性を学ぶ。また、行政が直面する諸課題について認識を深めるとともに、行政の役割・在り方について考える。 |
| 諸行事 | 開・閉講式、オリエンテーション、健康管理等 | | |

注) 研修科目、時間等は、諸事情により変更することがある。